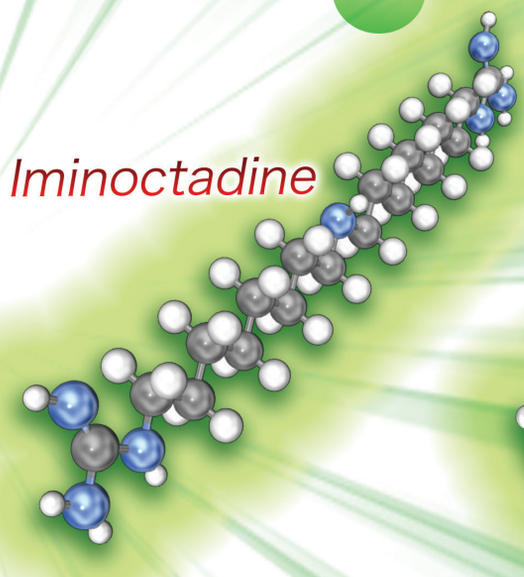
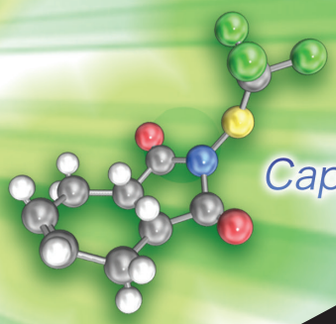
農林水産省登録
第２０２３７号





頼れる2つのパワーで病原菌を跳ね返す！

作物の総合殺菌剤

ダイパワー®水和剤

®は日本曹達(株)の登録商標

作物の総合殺菌剤

ダイパワー®水和剤

有効成分：イミノクタジンアルベシル酸塩…20.0%
キャプタン……45.0%
殺菌剤分類 M7,M4
安 全 性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）

2成分の効果

幅広い抗菌スペクトラム

イミノクタジンアルベシル酸塩と**キャプタン**を組み合わせた混合製剤で、各種病害に高い効果を示します。

優れた予防効果

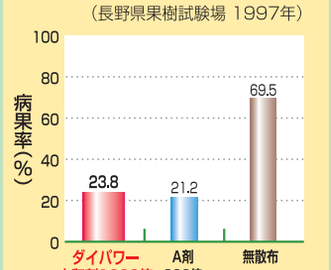
発病前の散布で優れた予防効果を示し、りんごでは総合殺菌剤として使用されています。
また各種果樹病害にも有効です。

適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用方法	本剤の使用回数	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	キャプタンを含む農薬の総使用回数
りんご	黒星病	1,000倍	200～700ℓ/10a	収穫前日まで	散布	6回以内（ただし、開花期以降散布は3回以内）	8回以内（液剤および水和剤は合計6回以内、（開花期以降は3回以内）、塗布剤は2回以内）	6回以内
	斑点落葉病 炭疽病、褐斑病 黒点病、輪紋病 すす点病、すす斑病	800～1,000倍						
おうとう	灰星病、幼果菌核病	1,000倍		収穫7日前まで		3回以内	3回以内	5回以内
なし	輪紋病、黒星病 うどんこ病、黒斑病 炭疽病			収穫14日前まで		4回以内	5回以内（塗布剤は2回以内、液剤は1回以内）	9回以内
かき	うどんこ病					3回以内	3回以内	5回以内
ぶどう	べと病、黒とう病 晩腐病			収穫60日前まで		2回以内	3回以内（休眠期は1回以内、生育期は2回以内）	3回以内
もも	縮葉病			休眠期		1回	3回以内（休眠期は1回以内）	4回以内
きゅうり	褐斑病、炭疽病 うどんこ病、べと病		100～300ℓ/10a	収穫前日まで		5回以内	7回以内	5回以内（種子粉衣は1回以内）
たまねぎ	灰色かび病						5回以内	6回以内（種子粉衣は1回以内、は種後は5回以内）

りんご　炭疽病

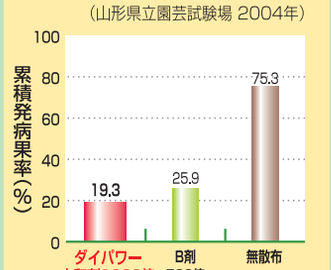
（長野県果樹試験場 1997年）



●品種：千秋 わい性台樹
●発生状況：多発生
●区制：1区5～10樹、1反復
●処理：6/25、7/7の2回　●調査：9/3

西洋なし　輪紋病

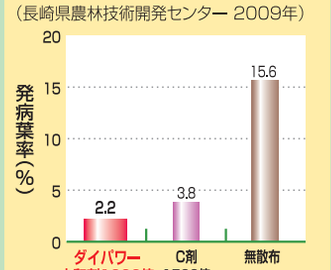
（山形県立園芸試験場 2004年）



●品種：ラ・フランス/ヤマナシ15年生
●発生状況：甚発生　●区制：1区1樹
●処理：6/10,24、7/10,23の4回
●調査：10/7～11/5

なし　黒星病

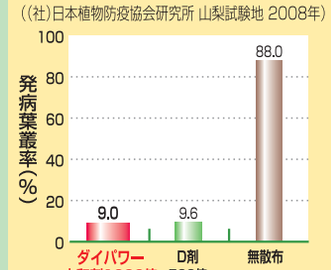
（長崎県農林技術開発センター 2009年）



●品種：幸水6,7年生　●発生状況：少発生
●区制：1区1樹、5反復
●処理：3/31、4/10,20の3回
●調査：5/20

もも　縮葉病

（(社)日本植物防疫協会研究所 山梨試験地 2008年）



●品種：夢しずく6年生　●発生状況：多発生
●区制：1区2樹、3反復
●処理：3/18（発芽直前）
●調査：4/30

⚠ 効果・薬害等の注意

●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
●イミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
●石灰硫黄合剤、ボルドー液等のアルカリ性薬剤及びマシン油剤との混用はさけてください。
●散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節してください。
●りんごに使用する場合、芽出し2週間すぎから落花後25日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。
●西洋なし品種ル レクチエではさび果・ももの缶桃14号等の缶詰用品種では葉の薬斑を生じるおそれがあるのでかからないように注意してください
●ぶどうに使用する場合、幼果期～袋掛けまでの散布は、果粉の溶脱や果実の汚染を生じるおそれがあるので注意してください。
●ももでは発芽後の若葉には薬害を生じるおそれがあるので、必ず発芽前に散布してください。
●ももの縮葉病に使用する場合は、発芽直前の使用が効果的です。
●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
●かきの品種西村早生では葉に薬斑を生じるのでかからないように注意してください。
●おうとうに使用する場合、着色期以降の散布では薬害（着色障害）が生じるおそれがあるので使用しないでください。
●使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠ 安全使用上の注意

●粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
●皮ふに対して弱い刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
●散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
●かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
●夏期高温時の使用をさけてください。
水産動植物への影響：水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行ない、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋等は圃場などに放置せず適切に処理してください。

LINE公式アカウントはじめました!
友だち募集中
最新情報をLINEで配信!
@nichino

NICHINO
日本農薬株式会社
東京都中央区京橋1丁目19番8号
TEL：0570-09-1177　URL：https://www.nichino.co.jp/

2025年11月作成版（Z）DS12511S